

成果指標				
成果指標	入場者数(利用者数)			
指標設定の考え方	施設活用の判断基準となる入場者数・利用者			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	14,000人	14000	14500	0
実績	14151	14530人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	5年間の修繕計画を作成し、計画的な改修を行い、利用者の利便が損なわない施設運営を行う。引き続き、指定管理者制度による管理運営が妥当と考える。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各種イベント等に花・鉢など出店販売し販売収入アップに努めている。引き続き、花卉を通じて都市との交流の場を提供し指定管理者のノウハウを生かすなど集客力アップに努め、併せてコスト削減を図るとともに健全な管理運営に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

素晴らしい施設であるが、維持管理が大変な面もあり、廃止も含めて検討すること。